

事務事業名 放置自転車対策事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：58

施策：	27	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01020109-02-00
基本事業：	03	駅の利便性向上	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	駅の利便性の満足度		担当課	維持管理課
			担当係	管理担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和61年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民及び駅利用者			市が指定している自転車放置禁止区域における放置自転車の撤去及び指導、撤去した自転車の返還業務を行っています。 巡回指導・撤去作業は年間で、二日市地区68回、針摺天拝地区48回、筑紫地区48回を設定しています。 撤去した自転車は市内3か所の保管所（二日市、立明寺、原田）で保管します。 防犯登録、車体番号、盗難届けを警察へ照会し、所有者が判明したら引き取りの通知をし、受け取り時に1080円の保管手数料を徴収します。（盗難届けがあれば無料）							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
放置禁止区域内の放置自転車の解消。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
駅周辺の放置自転車対策の市民満足度（まちづくりアンケート）		%	79	84.5	70				70	
自転車駐輪場利用率（台/日）		台	1,417	1,384	1,417				5,200	
5. コスト										
事業費		計	千円	10,026	9,080	9,622	6,850			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	290	206	283	286			
一般	千円	9,736	8,874	9,339	6,564					
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3					
正職員人件費		千円	2,399	2,427	2,420					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	12,425	11,507	12,042	6,850				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		自転車駐輪場における1日当たりの利用率は、H26年度1,627台、H27年度1,593台、H28年度1,415台、H29年度1,417台、H30年度1,384台と減少傾向である。しかしながら、放置自転車撤去台数においても、H26年度983台、H27年度764台、H28年度651台、H29年度590台、H30年度488台と減少傾向にあり、駐輪場利用者数は減っているものの、放置自転車も減少しており、事業の成果は出ていると言える。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	放置自転車撤去台数についても減少傾向にあり、一定の成果が出ている。引き続き、指導の徹底及びモラル向上への取り組みにより放置自転車の減少に努めていく。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	小さい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
駅周辺の道路上に放置自転車が増加し歩行者の快適な通行環境に支障がでているため、昭和61年度に施行した「筑紫野市自転車の放置防止に関する条例」に基づき、自転車放置禁止区域を指定し、放置自転車の防止に努めている。										